



そっとおとどけ

そっとおとどけは、直方市立図書館の司書によるミニ新聞です。図書館をもっと身近に、本をもっと好きにならしてもらえたら...という思いからうまわれました。

読書感想文・感想画 展示会

7/20～9/11に募集した読書感想文の全作品を、学校ごとに2期にわけて展示します。

第1期

9/27(木)～10/10(水)

第2期

10/11(木)～10/23(火)

会場：直方市立図書館

正面入り口ロビーおよび図書館内

※期間中に展示する学校名などの詳細は、図書館におたずね下さい。

秋の読書まつり

10/27(土) 10:30～16:30

会場：ユニティのおがた小ホール & 図書館おはなしコーナー

10:30～ 人形ウオードパルドラの公演 小ホール

「笑顔の宅面便」

♪歌ゼバトマム、踊りとくみあわせた楽しい劇 小ホール

11:30～ スラム屋つくろう! 小ホール

(科学工作)

14:00～ やまびこのおはなし会 図書館 おはなしコーナー

15:00～ 映画上映 小ホール

「わがねうさぎ」「おぼけのてんがら」

「絵からとびだしたねこ」

行事予定

- | | |
|--|---|
| 9月 | 10月 |
| 2(日) 14:00～ おはなし会
おはなしコーナー (水乃の会) | 9(火) 11:00～ 乳幼児向けおはなし会
おはなしコーナー (夏の子) |
| 8(土) 14:00～ 映画上映
「ほがらかに鐘は鳴る」
(土曜シアター) (8編) | 11(木) 感想文・画展示会②
～10/23(火)
14:00～ 映画上映
「ヴォークラリメンバー」(10/27分)
(土曜シアター) |
| 11(火) 11:00～ 乳幼児向けおはなし会
おはなしコーナー (夏の子) | 13(土) 14:00～ 映画上映
「ヴォークラリメンバー」(10/27分)
(土曜シアター) |
| 15(土) 14:00～ 小ホール
ブラックパネリングター
(20:15はな教室) | 14(日) 11:00～ おはなし会
おはなしコーナー (20:15はな教室のみ) |
| 23(日) 14:00～ おはなし会
おはなしコーナー (図書館職員) | 20(土) 14:00～ おはなし会
おはなしコーナー (おぼけのね) |
| 27(木) 感想文・画展示会①
～10/10(水) | 27(土) 秋の読書まつり |
| | 28(日) 14:00～ おはなし会
おはなしコーナー (図書館職員) |

展示コーナーのご案内

一般展示コーナー

『ZOO～動物の世界へようこそ～』
～9/25(火)

世界の野生動物から身近なペットまで、様々な動物の生態がわかる本を紹介しています。
動物園に来た気分、ぜひお楽しみください。

児童展示コーナー

『宇宙をみあげて』
～10/30(火)

今年は皆既月食や金星環日食など、宇宙のふしぎな現象がたくさんありました。ふだんより、光らを見上げた天を眺めたのでは、ないかな？
今日は、空、宇宙、星などの本を紹介しています。



【9月】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

【10月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※ □ はお休み、太字 は17時間館、○ は行事がある日です



直方市立図書館

電話：0949-25-2240

開館時間：火～土 10:00～19:00

7/24：0949-23-3902

日、祝 10:00～17:00

ホームページ：http://www.yumenity.jp/library/library.html

「復の光」 坂本司:着 Fサ

高校で人気のない、部員4名の天文部。彼らは皆、仮面を被り過ごすことで、本当の自分を偽っていた。家庭、恋愛、持来……、Xが元々の抱える問題は、違つてくれれば、Xの強敵に苦戦を強いられる日々。Xんな彼らが唯一受け取るのが天文部。着を寄せ合い、観測会や復星を見上げる時間だけが彼らと接していた。Xの切なさに胸が締めつけられる1冊。

「空のおくりもの 愛をつむぐ少年のお話」 マケル・キャッチャー:文 E933キ

あるところに、空から糸をつむいで布をおる少年がいました。Xの少年が作ったマフラーを見たXは、とても気に入り、少年にたくさんの布を作るように命じます。やがて空から雲がなくなってしまう。自然と人々の共生について考えさせられる一冊です。

「驚くべき雲の科学」 リチャード・ハンブリン:解説 451.6ハ

世界各地で撮影された豪げ大気の現象を果敢に採りし写真集。このような空をみたことはない、と誰もが思うであろう豪げの大気が見られます。おすめは「衝撃波」の空。まるでジェット機が即から生み出したかのように見えます。撮影者によるXは、「最もクールな」豪げらしいです。



「飛行機の歴史」 山本忠敬:着 K538キ

イラストで見る飛行機の歴史。現代のものより100年も前の飛行機が、かこいと感じられるのは、飛行機に対する当時の人たちの情熱が感じられるからでしょう。大空の人の空を飛びたいという夢は、時代を超えて受けつがれていきました。飛行機の歴史は、夢を受けつぐ歴史といえます。



9月のテーマ



「空を取り戻した日」 ミニル・ブジュレ:着 953フ

空は「希望」の喩であり、Xと同時に「魂」の喩でもあります。少年ニノがなしくれた空を取り戻すためには、多くの人とのお出合い、ふれあひが必要でした。Xして、彼が空を獲得することがXのまま、彼にかかわったひとにとっても空を奪にすることにしているのでした。

「巴里の空の下 オムレツのにおいは流れる」 石井 好子:着 B596イ

空はつながっているとさえども、Xの空の下に広がる文化は違う。この本では、着者が滞在した各国での食について書かれています。Xの食についての各国の空にわけていながら、深い所が知れて自分がXの国で食事をしている気になられる一冊。

「世界一空が美しい大陸 南極の回鑑」 武田康夫:文・写真 402.9タ

言葉と失うほど輝く星空、息をのむようなオーロラ、厳しい自然の中を生きる動物たち……。南極だからX見ることができない自然現象を、770点以上の美しい写真に科学的な解説を添えて紹介します。まだまだ着いて、この本を手にとらって深い空気に浸ってみませんか？

「Xとおとせ」では、毎月テーマを決めて、職員1人が1冊ずつ

テーマに沿った本を選び、紹介文を書いています。図書室ではたらく13名が紹介する13冊がXりました。展示コーナーにさらべていますのでぜひ手に取ってごらんください。



「つたえたいきもちは木にのぼって おさがしてくだい」 阿部夏丸:文 K913ア

今夜はおまつりです。このはの木の下でこのはまつりがはじまりました。今夜だけは、動物たちがこぼれを持ち、ほねをすることができそうです。くまは、うさぎは、いたちは、月夜のもじでXんなことを話すのでしょうか？

「写真ノ中ノ空」 9/1.5タ 谷川俊太郎:詩 荒木経惟:写真

空は、調和することの難しい謎に満ちた存在です。しかし、着者の「なにもかも失って空の空がある」という言葉には不思議と勇気づけられ、空とつながっているような気持ちになります。二人の天才が想つ、XれXれの空を写し出した写真詩集です。

「くものがっこう」 E913ミ みらいなな文 いけすみこ:絵

空にうかぶ、小さい雲が大きな雲。空を見上げてみた。いつも違う形を凝らして、私たちを楽しませてくれる。あれ？あの雲、どこかに似てる…。Xんなことを思った経験がありますか？Xれば、もしかしたら、くもの子たちが学校で練習しているのかも？

「東京公園」 小路幸也:作 BFシ

見上げればいつも空の下、公園で家族写真と撮る写真家志望の大学生。ある日、公園で会った男性から「妻を虐待して写真と撮ってほしい」という変な依頼を受け……。幼い娘を連れて、都内の公園をめぐる彼女を撮るうちに、いつしか恋かかってくる。憧れが恋へと変わる前の、きらきらした青春物語。

「もしも空が落ちてきたら朝食に雲をいただきます」

クーパー・エデンズ:作 726.6エ

雲が落ちてきたらば…などの非現実的な文、電球が切れました。たのび…などの現実的な文、でもXに続く文はすべて荒唐無稽。わけがわからぬけれど、楽しい。個人的には「鍵をなくしてしまったのなら 家なんて放りなげよう」が一番好き。ベストセラーの児童書。

「地球一周空の旅」 上空から眺める55のPPS通信社:写真 290.8ア 絶景」

ナスカの地上絵のように、上空から見たXの景色はもちろん、山も滝も街並みも、空からの眺めは新発見で神秘的です。Xして、地球でXてきたなと思わせます。視点を交えて絶景が堪能できる一冊です。